

令和5年度第1回小牧市学校給食運営委員会会議録（要旨）

- 開催日時** 令和5年5月26日（金）
午後2時から午後2時45分まで
- 開催場所** 小牧市北部学校給食センター 会議室
- 出席委員** 委員長 山盛英二、副委員長 福岡恭子
（敬称略） 田上昭典、吉田雅代、細江麻里、山田由紀子、平手弘美、
工藤みゆき、内田尚子、杉本純一（10名）
- 欠席委員** 楠 詩帆、松浦由美、神谷文恵、毎床久実、大鹿幸子
（5名）
- 事務局** 中川教育長、伊藤教育部長、矢本教育部次長
（学校給食課）林課長、小川主幹兼南部学校給食センター所長、
大塚東部学校給食センター所長、
佐藤（真）栄養教諭、佐藤（綾）栄養教諭、
渡邊学校栄養職員
- 会議内容** 議題（1）学校給食費の改定について
・諮問事項の審議について
・答申について
- 会議資料**（1）小牧市学校給食運営委員会条例
（2）学校給食費の改定について
資料1 学校給食費の改定について
資料2 給食費検討資料

議事内容

1. 教育長あいさつ

- ・世界情勢の急激な変化、急激な物価上昇が続いたことにより、給食食材が高騰し給食の安定供給が困難になったことから、令和4年9月に1食あたりの給食費を小学校235円から270円に、中学校270円から300円に改定したところであります。
- ・給食費の改定にあたり、子どもたちの健全な成長のため必要な栄養価及び量を確保しながら、献立についても工夫を加え、学校現場や保護者の意見などに耳を傾けながら、給食の充実を図ってまいりました。
- ・しかし、昨年度から今年度にかけて更なる物価上昇が続いておりまして、給食食材費も高騰の影響を受けており、食材単価は令和4年度から令和5年度にかけて更に上昇しています。

- ・令和4年度に改定しました給食費で、令和5年度も質・量のバランスがとれた給食を提供していくことができるのかを検討しましたところ、現行の給食費では困難な状況になっております。そこで今年度の2学期から改めて給食費を改定することとしたものであります。
- ・なお、今後物価が下がった場合には併せて給食費も値下げをさせていただきますので、ご承知おきください。
- ・本日は給食費改定等についてご説明させていただきますので、忌憚のないご意見をお願いいたします。

2. 委員紹介

委員名簿順に自己紹介。

3. 委員長及び副委員長の選任

事務局より委員長及び副委員長選任について説明後、委員から山盛委員を委員長に、福岡委員を副委員長に推薦する旨の発言があり、委員の拍手多数により就任決定。

4. 委員長あいさつ

5. 議題 (1) 学校給食費の改定について

(事務局：資料1～2により説明)

■ 諮問事項の審議について

(委員) 給食は私たち母親にとって、とてもありがたい。

物価高騰による値上げはいたしかたないと考える。

(委員) 成長期の子どもたちにとって、精神的、体力的に給食は重要であり、物価が上がっているので値上げは妥当と考える。

(委員) 資料によると、令和5年度については保護者負担がないとのことだが、令和6年度以降はどうなるのか。

(事務局) 令和5年度は国の地方臨時創生交付金を値上げ分に充てるため、保護者負担は生じないが、令和6年度からは値上げとなる。現時点で値上げ分に公費を充てるかは未定である。

(委員長) ぜひ、交付金を延長するように国へのはたらきかけをしてもらいたい。

(委員) 昨年度9月に値上げして以降、米飯の量が増量した。それ以降、クラスで米飯が余ることが多くなった。
米飯の量を元に戻すことはできないか。

(事務局) 米飯については、栄養価を満たすため、昨年度9月の値上げにあわせて10g増やした。そのため、これ以上増やすことは考えていない。

(委員) 残さいが増えてしまっているため、減らすことはできないのか。

(事務局) 昨年度の改定の検討の際、栄養価を満たすことを最優先に考えて米飯量を増やしたため、減らすことは考えていない。

児童生徒への食育などを通じて残さい量を減らすよう、努めていきたい。

(委員) 学校費について、内訳がないので毎月の給食費がどれだけ掛かっているのかわからない。我が家は第3子以降の無償化、第2子中学生の無償化も該当しないため、大変になるというのが本音。第3子以降無償化の対象世帯は大変助かっていると聞く。

平等に無償化するなどは考えられないか。

(委員長) 平等性の観点もあるため慎重に検討していただきたい。

(委員) 今後のスケジュールで7月に保護者へ通知とあるが、実質的な値上げは来年度からになるため、2月か3月ごろにあらかじめ保護者あてに通知してはいかがか。

(事務局) 内部で検討させていただく。

(委員) 中学生は残さい量が多いと聞く。栄養価の問題もあるのでしっかりと栄養価の説明をして、残さいをなくすよう指導していただけたらと思う。子どもたちのために値上げはよいと考える。

(委員長) 近隣の給食費を見ると、小牧は妥当な価格と思うが、事務局はどう考えているか。

(事務局) 小牧よりも高額な自治体もあり、また、値上げを検討している自治体もあるため、この価格は妥当と考えている。

(委員長) センター方式の場合の給食の配送費用は誰が負担しているのか。

(事務局) 市が負担している。保護者には食材費のみ負担していただいている。

(委員長) 配送費用も保護者が負担している自治体もあるのか。

(事務局) 学校給食法で保護者は食材費のみ負担と定められている
(委員長) 質問、意見もないようなので、給食費の値上げ、改定額
ともに事務局案で了とする。

■ 答申について

(委員長) 学校給食費の値上げについては、本日の審議を踏まえ実
施するとの答申を行うということで、委員の賛同をいた
だきたいと思うが、いかがか。

(異議なし)

6. その他(1) 第2子中学生の学校給食費の無償化について

《特に意見・質問等なし》